

## 10. その他地域の自立促進に関し必要な事項

### (1) 現況と問題点

#### ① 新しい総合計画の策定

人口減少社会の到来や激動する社会情勢などの諸課題に的確に対応するため、平成28年度以降の本町のまちづくりの指針となる総合計画の策定が必要となっています。特に策定にあたってはアンケート調査や討論会の開催など町民参画の機会を設け、町民の意見やニーズを的確に把握するとともに、現計画の課題整理を行い、新たな方向性について検討を重ねていく必要があります。

#### ② 広報広聴

町民のニーズが多様化する中で、計画立案や施策の実施、効果測定等は町民との情報共有が不可欠であり、広報活動は正確にかつわかり易く伝達することを念頭に、特に町の施策は「厚真のまちづくり 執行方針と予算」を広報紙の別冊として発行し、町民との情報共有を図ってきました。また、広聴活動は、町長などが地域の各自治会に直接出向いて課題などを話し合う「町政懇談会」を開催し、今後は、これらをさらに充実し町民とのコミュニケーションを深めていく必要があります。

#### ③ きめ細かな情報発信

本町のまちづくりや特色を全道・全国に向かってアピールし、町の認知度を高めていくため、「厚真を知ってもらう」「厚真に興味を持ってもらう」「厚真を選んでもらう」の視点に立ち、創造と演出を組み合わせた総合プロデュースにより本町の素材を磨き上げ、きめ細かな情報発信を継続していかなければなりません。本町の公式キャラクター「あつまるくん」の活用により、本町の知名度アップと本町特産品等のPRなど、町内外での活動を精力的に行っていく必要があります。また、マスメディアの効果は大きいため、新聞広告や他市の広報紙面を活用し、本町の施策やイベント情報など大都市圏を中心に発信することが重要です。

さらに、本町のホームページと併用している SNS (ソーシャル・ネットワーキング・サービス) の厚真町公式フェイスブックは、その手軽さから本町の重要な情報発信ツールとなっており、全国で本町の SNS 情報が閲覧され徐々に支持を得てきており、今後、ホームページでの行政情報の発信とともに、全国へのきめ細かな情報発信に努めていかなければなりません。

### (2) その対策

#### ◆新しい総合計画の策定

- ア 町民参画の策定組織(まちづくり委員会専門部会)の設置
- イ 町民アンケートの実施
- ウ まちづくりフォーラム・町民討論会の開催

#### ◆広報広聴活動の充実

- ア 多様な媒体を用いた行政情報の伝達
- イ 町政懇談会の開催
- ウ 地区巡回の実施

#### ◆きめ細かな情報発信

- ア 町ホームページと SNS による情報発信
- イ 公式キャラクターによる PR 活動の実施
- ウ 広告媒体を活用した本町の情報発信

(3) 計画

事業計画（平成 26～27 年度）

自立促進施策区分	事業名 (施設名)	事業内容	事業主体	備考
9 その他地域の自立促進に関し必要な事項	(2)過疎地域自立促進特別事業	<p>総合計画策定事業 (事業内容) 新たな総合計画の策定 (事業の必要性) 平成 28 年度以降の長期的なまちづくり指針が必要である。 (見込まれる事業効果) 町民の参画機会を設けることにより、政策決定過程や達成目標の情報共有化を図ることができる。</p>	町	
		<p>広報あつま発行事業 (事業内容) 広報紙の定期的発行（月 1 回発行） (事業の必要性) 町民へ一元的に情報を発信することにより、行政の内容を周知する。 (見込まれる事業効果) 町の政策等を広く周知することにとどまらず、町民の意思を広く伝えることにより、町の活性化を図ることができる。</p>	町	
		<p>情報発信事業 (事業内容) 公式キャラクターによるPR活動等の実施 (事業の必要性) 情報発信強化や町のイメージ及び認知度の向上を図る必要がある。 (見込まれる事業効果) 情報発信等により移住定住効果や地域の活性化を図ることができる。</p>	町	